

## 高次脳機能障害コース STEP1（定員：30名）

高次脳機能障害については、症状が外見からわかりにくく、また本人に自覚がないことも多いため「見えない障害」と言われることもあります。そのため支援者や周囲の方にもこの障害に対する理解が必要です。

高次脳機能障害の支援において、適切な知識をもって関わるのが、高次脳機能障害の方の社会適応を高めるといふ報告もあり、今回の研修では、「高次脳機能障害ってよくわからない。」「高次脳機能障害について理解したい。」といった支援者に対して、基礎理解を高める事を目的とします。（当研修の「高次脳機能障害の基礎理解」は2020年度に当センターが実施した高次脳機能障害コースSTEP1とほぼ同一の内容です。）

【会場】 zoom ミーティングを利用した Web 研修

日	時	内 容	講 師
<b>『高次脳機能障害の基礎理解』</b>			
令和3年 9月12日（日） 13:30～16:30 （受付 13:00～）		「高次脳機能障害の基礎理解」	滋賀県立リハビリテーション センター 所長 川上 寿一
		「社会的行動障害の基礎理解と その対応」	滋賀県高次脳機能障害支援 センター 相談支援員 小西川 梨紗 氏

●対象者：医師、看護師、保健師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、薬剤師、介護福祉士、介護士、ケアマネジャー、ソーシャルワーカー、相談支援事業所職員、就労支援機関職員 等

●申込締切り：令和3年9月3日（金）まで 【先着順】

★お申し込みは、下記の受付フォームより行ってください。

（下記のURL、QRコードよりアクセス可能です）

申し込みされた方に、Web会議(zoom)のミーティングID・パスワードをE-Mailでお伝えします。

※ 受講の可否については、申し込みの締め切り後、**受講できない方のみ** E-Mailにて通知します。

URL：<https://forms.gle/mfqY5qeBaVZXxRUr7>

QRコード



※ STEP1は、滋賀県高次脳機能障害相談支援員研修の必須研修となっております。

※ 日本作業療法士協会生涯教育制度申請予定（1ポイント）

※ 研修を欠席する場合は事前にご連絡いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

担当：澤井

## 高次脳機能障害コース STEP2B（定員：20名）

高次脳機能障害については、症状が外見からわかりにくく、また本人に自覚がないことも多いため「見えない障害」と言われることもあります。そのため支援者や周囲の方にもこの障害に対する理解が必要です。

失語、失行、失認、半側空間無視等も学術的な定義において高次脳機能障害として挙げられます。このような症状を持つ方々に対し、生活場面での支援に関わる方を対象に、動画等を用いながら、それらの障害特性に対する理解を深めると共に、実際の関わり方が具体化できるように動画やアセスメントツールを用いながら理解を深めます。（当研修は、2019年度に実施した高次脳機能障害コース STEP2B と同一の内容です。）

【会場】 zoom ミーティングを利用した Web 研修

日 時	内 容	講 師
令和3年 9月26日（日） 9:30～12:30 （受付 9:00～）	『生活における高次脳機能障害の 捉え方や対応法 B』	滋賀県立 リハビリテーションセンター 所長 川上 寿一 他

●対象者：医師、看護師、保健師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、薬剤師、介護福祉士、介護士、ケアマネジャー、ソーシャルワーカー、相談支援事業所職員、就労支援機関職員 等

●申込締切り：令和3年9月17日（金）まで 【先着順】

★お申し込みは、下記の受付フォームより行ってください。

（下記のURL、QRコードよりアクセス可能です）

申し込みされた方に、Web会議(zoom)のミーティングID・パスワードをE-Mailでお伝えします。

※ 受講の可否については、申し込みの締め切り後、受講できない方のみ E-Mail にて通知します。

URL：<https://forms.gle/yJXZEZhvZSs9eEou8> QRコード



※ STEP2Bは、滋賀県高次脳機能障害相談支援員研修の必須研修となっております。

※ 日本作業療法士協会生涯教育制度申請予定（1ポイント）

※ 研修を欠席する場合は事前にご連絡いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

担当：澤井

## 高次脳機能障害コース STEP3（定員：30名）

高次脳機能障害のある方の地域社会生活を支える際に様々な方や機関が関わることがあります。その際、支援機関の役割を知っている事は支援される方のこれからを左右する可能性があります。そこで、地域で中心となって支援している様々な方々に支援機関の役割や実際を講演いただき、今後の支援に活かしていくことを目的とします。

【会場】 zoom ミーティングを利用した Web 研修

日 時	内 容	講 師
令和3年 9月26日 (日) 13:30~ 16:50 (受付:13:00~)	『生活を支える社会資源 ～知る事が大きな差を生む～』	
	「滋賀県における高次脳機能障害の現状と滋賀県高次脳機能障害支援センターの支援」	滋賀県高次脳機能障害支援センター 相談支援員 田邊 陽子 氏
	(仮)「豊郷病院回復期での取り組み」	公益財団法人 豊郷病院 リハビリテーション科 作業療法士 日下部 洋平 氏
	「むれやま荘の機能と役割 ～高次脳機能障害への支援～」	滋賀県立むれやま荘 所長 宮川 和彦 氏
	(仮)「滋賀障害者職業センターでの高次脳機能障害者への支援」	滋賀障害者職業センター 主任障害者職業カウンセラー 山口 久尚 氏
	(仮)「高次脳機能障害友の会しがでの支援」	一般社団法人 なないろ 代表理事 高次脳機能障害友の会しが 岡本 律子 氏
	「働き・暮らし応援センターにおける高次脳機能障害者の支援状況について」	働き・暮らしコトー支援センター センター長 森本 義彦 氏

●対象者：医師、看護師、保健師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、薬剤師、介護福祉士、介護士、ケアマネジャー、ソーシャルワーカー、相談支援事業所職員、就労支援機関職員 等

●申込締切り：令和3年9月17日（金）まで 【先着順】

★お申し込みは、下記の受付フォームより行ってください。

（下記のURL、QRコードよりアクセス可能です）

申し込みされた方に、Web会議(zoom)のミーティングID・パスワードをE-Mailでお伝えします。

※ 受講の可否については、申し込みの締め切り後、受講できない方のみE-Mailにて通知します。

URL：<https://forms.gle/jvqERszQDbYqgAu38>

QRコード



※ STEP3は、滋賀県高次脳機能障害相談支援員研修の必須研修となっております。

※ 日本作業療法士協会生涯教育制度申請予定（1ポイント）

※ 研修を欠席する場合は事前にご連絡いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

担当：澤井

## 高次脳機能障害コース医師・セラピスト研修（定員：20名）

高次脳機能障害は受傷、発症時には気づかないことが、在宅や社会生活で症状として出ることが多く、また、障害特性も幅広く、症状の出方も様々なため、日常・社会生活に支障を及ぼすことも少なくありません。そこで今回は社会的行動障害の中の脱抑制に着目し、①脳機能から症状について、②脱抑制と依存のつながり、依存と社会と文化の関係性について、③抑制機能を発達過程と文化から紐解いた社会性・社会脳について、④脱抑制と日常生活・社会生活困難について学び、日々、高次脳機能障害者はじめ、人と関わる支援者が抑制についての脳の機能を学ぶことにより、原因と脳機能、発達と生活を結び付けて考えるきっかけとなり、多様性の理解と支援の気づきにつながる事を目的とします。

【会場】 zoom ミーティングを利用した Web 研修

日 時	内 容	講 師
令和3年 11月7日（日） 13:00～17:00 （受付 12:30～）	『抑制機能に対する理解と考え方』	
	「抑制機能の脳機能について」	京都大学大学院医学研究科 精神医学教室 教授 村井 俊哉氏
	「実行機能の発達と文化」	京都大学大学院文学研究科 准教授 森口 佑介氏
	（仮）「日常生活・社会生活困難の見方考える」	滋賀県立リハビリテーションセンター 所長 川上 寿一
ワークショップ （仮）「事例から高次脳機能障害の支援について考える」		

●対象者： 医師、看護師、保健師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、薬剤師、介護福祉士、介護士、ケアマネジャー、ソーシャルワーカー、相談支援事業所職員、就労支援機関職員 等

●申込締切り： 令和3年10月29日（金）まで 【先着順】

★お申し込みは、下記の受付フォームより行ってください。

（下記のURL、QRコードよりアクセス可能です）

申し込みされた方に、Web会議(zoom)のミーティングID・パスワードをE-Mailでお伝えします。

※ 受講の可否については、申し込みの締め切り後、受講できない方のみ E-Mail にて通知します。

URL : <https://forms.gle/xBMCr2T8ePj1KzK19>

QRコード



※ 日本医師会生涯教育制度2単位申請予定  
 ※ 日本作業療法士協会生涯教育制度申請予定（1ポイント）  
 ※ 研修を欠席する場合は事前にご連絡いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

担当：澤井